

大学スポーツ安全マニュアル

羽衣国際大学
大学スポーツ委員会

1 本マニュアルの位置づけ

本マニュアルは、羽衣国際大学（以下、大学）のスポーツ系課外活動において、事故防止に関する対応方針、平常時の対応、事故発生時の対応を記載したものである。

2 運用範囲

本マニュアルが運用される範囲は、大学が公認するスポーツ系課外活動とする。また、本マニュアルは、これらの組織の構成員によって活用されることを想定している。

3 組織体制（資料1）

平常時における大学のリスク管理体制は以下のとおりである。リスク管理対応は大学スポーツ委員会が行い、その事務はスポーツ振興課が担うこととする。

（1）大学スポーツ委員会

大学スポーツ委員会は、本学における強化クラブの位置づけ、基本方針の提案、年度ごとの総括と次年度の方針の策定、各クラブの状況報告と情報交換、日常の活動における問題点の整理、解決を行う。また、リスク管理を統括する。

平常時のリスク管理体制の構築や啓発や、リスク発生時の対策本部となる。リスク管理責任者は、大学スポーツ委員会委員長とする。

（2）指導者

指導者は、技術指導及び自己啓発、事故の防止と対応体制の構築、事故情報の集約、保険への加入の促進、学生募集、キャリア支援、事故の防止および事故情報の集約、事故発生時の緊急対応、保険への加入の促進などを行う。強化クラブのリスク管理者は、各監督とする。

（3）顧問

顧問は、ガバナンス体制の構築、指導者との連携、危機管理体制の構築、会計の透明性の確保ハラスメントや暴力に関する相談や対応、リスク管理体制の確認を行う。

（4）学科

学科とは、部員が所属する学科であり、入学予定者の情報確認、学修機会の確保、成績の管理と対策、学業への動機づけを行う。また、キャリア形成やリスク発生時における学習機会の確保を行う。

（5）スポーツ振興課

スポーツ振興課は、大学スポーツ委員会の調整、情報の集約と広報、学生の経済的負担の軽減 UNIVAS との連携、リスク発生時の事務局及び、指導者の資質能力意識向上を行う。また、保険請求等の事務を行う。指導者がいないサークル等のリスク管理者は、学生支援課長とする。

4 事故予防

（1）活動方針

1) 目標に応じた活動

目標に合致しない無計画な行動はスポーツ事故の原因となりやすい。適切な練習内容（強度、時間、頻度等）となっているかを考える。

2) 安全に配慮した行動

スポーツ活動は、実施者のレベルにより行われるべきであり、それが実現されないと安全保証が散漫になる。運動強度は徐々に上げていくことが大切である。

3) 自然環境の変化対応した活動計画

雨、風、雷のような自然環境の変化に対して、適切な危険回避行動（活動中止、避難、）をとる。

4) 緊急体制の確認

緊急時に迅速、かつ適切な対応ができるよう緊急時対応フローを定期的を確認する。

(2) 施設・設備・用具の点検・整備（資料2、資料3）

1) 施設・設備の点検・整備

担当者（リスク管理者）は、スポーツ活動を行う場所について、常に点検し必要に応じて整備する。また、スポーツ施設の広さに応じて活動人数を制限するなど、学生通しの衝突事故を回避する工夫を行う。

2) 用具の点検・整備

スポーツ活動に使用する用具は定期的な点検を行う。

3) 救護資材の配備と点検

救護資材（自動体外式除細動器、救急箱、ストレッチャー等）は、緊急時に迅速に対応できるように配備する。

(3) 定期的な研修会の実施

1) 安全講習会

学生に対して、突発的な事故が起きた時に迅速に対応するために年に一度安全講習会を行う。安全講習会の計画・実施は、大学スポーツ委員会が主催する。

- AED を含む心肺蘇生法の理解
- 熱中症や脳振盪への対応
- 擦り傷、出血、捻挫、骨折等のケガへの対応
- アナフィラキシーショックへの対応
- 重症度、緊急度、救急車要請判断等のトレーニング
- 搬送法の知識と技術の獲得

2) 指導者研修

スポーツ指導者としての専門知識・技能・指導技術レベルを高める為に、定期的な指導者研修を行う。

- 発生を予測し得る傷病に対する未然の予防（Prevention）
- 3つのH【頭部外傷(Head injury)、熱中症(Heat stroke)、心臓突然死(Heart suddenddeath)】に対する対策
- 周到な準備と重大事故への迅速な対応（Responses）
- 事故発生時の救命処置
- 救急搬送記録の実施

(4) 保険加入の促進

全学生は、学生教育研究災害傷害保険（Bタイプ、通学中当障がい危険担保特約）と学研災付帯賠償責任保険に加入している。また、スポーツ安全保険の加入を推奨する。強化クラブに関わる者は、スポーツ安全保険の加入を義務付ける。

5 緊急時対応（資料4）

(1) 事故発生時の対応体制

スポーツ活動中に事故が起きた場合の対応は下記の通りである。現場のリスク責任者（監督・コーチ）迅速適切な対応を取る。

緊急連絡先

羽衣国際大学	072-265-7000
スポーツ振興課	072-265-7001
救急要請	119
馬場記念病院（外傷）	072-265-5558
高石藤井病院（総合）	072-265-5335

(2) 事故報告

1) 基準（あくまでも目安であり、個々の状態により適切な対応を行う）

		大学	報告書・ 事故共有 シート	保護者
レベル1	擦り傷等学内で対応可能な場合	不要	不要	不要
レベル2	軽度熱中症等保健室で対応する場合	不要	不要	不要
レベル3	捻挫等緊急ではないが、病院受診が必要な場合	必要	必要	必要
レベル4	救急搬送が必要な場合	必要	必要	必要
レベル5	入院が必要な場合	必要	必要	必要

2) 報告書の提出（資料5、資料6）

原則として、リスク管理者は、上記レベル3以上の事故が発生した場合は「事故発生報告書」をリスク管理責任者に提出する。リスク管理責任者は、大学スポーツ委員会において情報を共有する（「事故共有シート」）とともに、重大事故が発生した場合は、原因究明、再発防止策を検討する。事故届の管理及び保管は、スポーツ振興課が行う。

羽衣国際大学強化クラブ体制と役割

2023.4

大学スポーツ委員会

- ・本学における強化クラブの位置づけ、基本方針の提案
- ・年度ごとの総括と次年度の方針の策定
- ・各クラブの状況報告と情報交換
- ・日常の活動における問題点の整理、解決
- ・リスク管理

体制

- ・監督、コーチ

役割 学内スポーツのガバナンス

- ・技術指導及び啓発
- ・事故の防止と対応体制の確立
- ・事故情報の集約
- ・保険への加入の促進
- ・学生募集
- ・キャリア支援

体制

- ・スポーツ振興課

役割 強化クラブ全体のマネジメント

- ・強化クラブ生の人材育成企画提案（学力、人間力、就職）
- ・大学スポーツ委員会の運営
- ・学生募集、ブランディング
- ・情報の集約と広報
- ・地域連携・社会貢献活動
- ・UNI W&Sとの連携
- ・指導者の適宜能力意識向上

監督

(森本・伊丹・辻・園田)

顧問

(岡西・森本・高谷・山下)

学生

事務局

(園・伊丹)

学科 (教育)

(岡西・玉井・恵真・長岡)

体制

- ・顧問

役割 安全・安心な大学スポーツの環境整備

- ・ガバナンス体制の構築
- ・指導者との連携
- ・危機管理体制の構築
- ・会計の透明性の確保
- ・ハラスメントや暴力に関する相談・対応

体制

- ・学科大学スポーツ委員（ゼミ担当、CA）

役割 学業の充実

- ・入学予定者の情報確認
- ・学修機会確保
- ・成績の管理と指導
- ・学業への動機づけ

(資料2)

事故のリスク確認チェックリスト

羽衣国際大学大学スポーツ委員会

プレー中に起因する事故		
事故の原因	確認事項	チェック
施設、用具の整備に起因する事故	破損、危険な突起物の有無の確認	
	倒れる危険性のあるものの固定状況の確認	
	緩み、腐食、水漏れの確認	
施設・用具の配慮に起因する事故	適切な活動人員の考慮	
	安全を確保した用具の準備	
	安全な同線の確保（安全な配置） 良好な環境の確保（照明、換気など）	
健康・身体能力の管理に起因する事故	無理をさせない	
	睡眠不足か	
	不安定な心理状態か	
	心疾患はないか	
気象状況	試合、協議を安全に行うためのスキルは十分か	
	雷鳴が聞こえたら活動を中止し、屋内への避難。雷がやんでも20分は屋外に出ない 熱中症の予防	
その他	特に冬季活動時、十分な準備運動を行っているか。	
	頭のけがの場合、軽微な事故であっても注意（影響が後で出る可能性）	
施設に起因する事故		
事故の形態	確認事項	チェック
転落事故	立入禁止場所の把握、施錠	
	防護柵の設置	
	屋上	
	天窓	
	バルコニー	
	低い手すり	
	窓	
	ひさし	
	吹き抜け	
	マンホールの蓋の開放	
衝突防止	石、金属の露出	
	面取りしていない柱	
	大きなガラス（視認性の確保等）	
転倒防止	水漏れ（雨漏り等）	
	床材の剥がれ	
挟まれ防止	扉、窓、戸袋等の隙間	
	防火扉、シャッター	
	門、側溝の蓋	
	その他開口部	
落下物による事故	天井材、外壁材	
	天井への設置物（照明、テレビ等）	
	書棚等への収容物	
倒木、倒枝	枯れた樹木、根の張り具合	
	強風で倒れた枝	

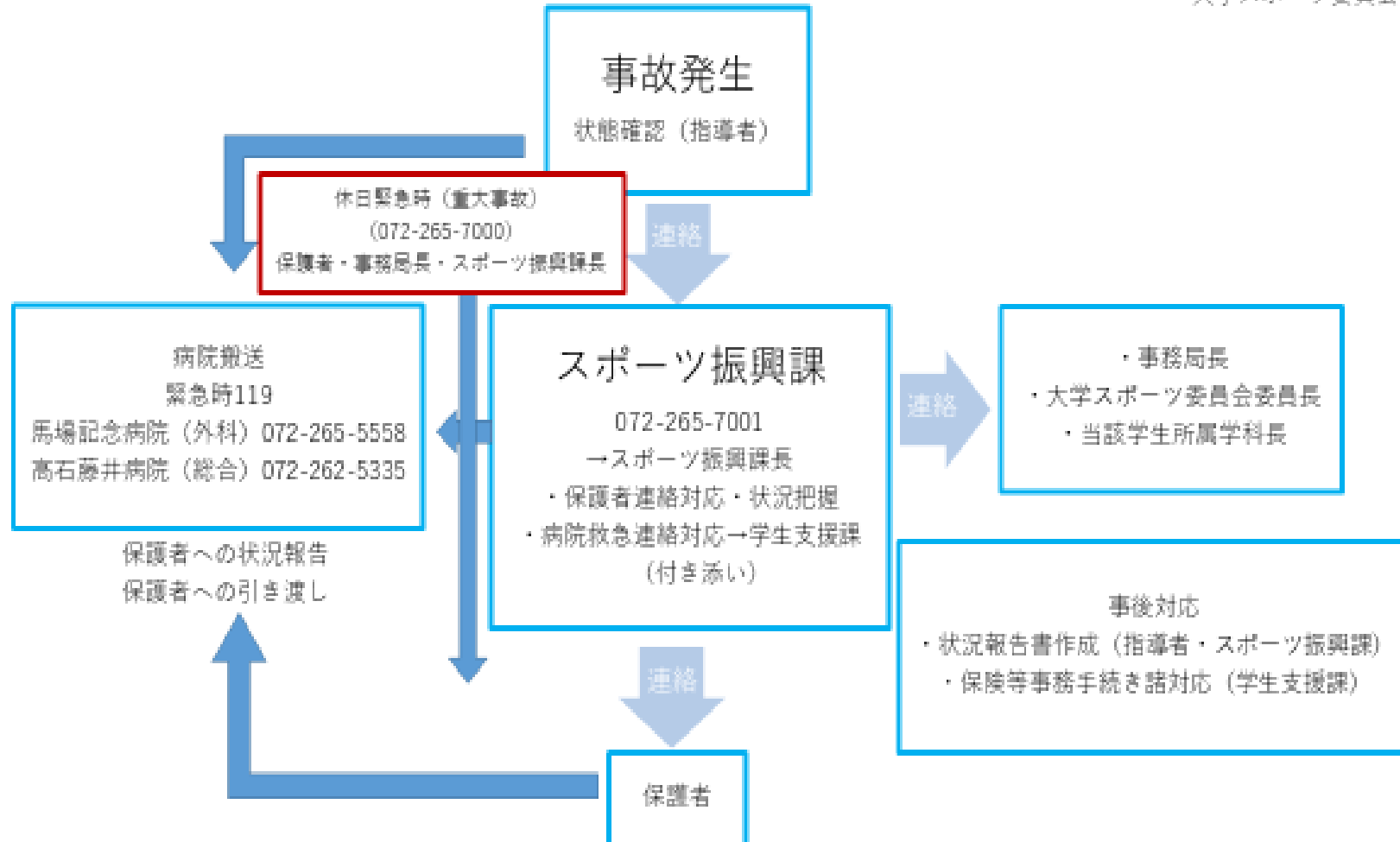
(資料 3)

施設安全のチェックリスト		羽衣国際大学大学スポーツ委員会					
施設名	確認事項	直近点検日	確認日	確認日	確認日	確認日	確認日
共通	保健室がある						
	応急救護用品、担架がある						
	AEDがあり、使用可能な状態である						
	WBGT（暑さ指数）計がある						
	非常口付近に障害物がない						
	消火器、消火栓、防火扉付近に障害物がない						
	倉庫内に用具等が高く積み上げられていない						
スポーツホール	十分な競技スペースがある						
	導線の先に障害物や窓ガラスがない						
	壁、床面、設備等に緩み、腐食がない						
	用具等に緩み、腐食がない						
グラウンド	十分な競技スペースがある						
	地面に凹凸や突起物がない						
	用具等に緩み、腐食がない						

(資料4)

強化クラブ活動中の突発的な事故に対する対応フロー

2022年6月14日
大学スポーツ委員会



(資料5)

年 月 日

大学スポーツ委員会委員長 殿

事故発生報告書 (第 報)

報告者	クラブ名
	監督氏名 印
顧問	印
部長	学部 学科
	氏名 印
発生日時 :	年 月 日 午前 午後 時 分頃
発生場所 :	
事故の内容 (負傷者の有無、程度、救急搬送の有無等)	
事故の経緯 (いつ、どこで、誰が、どうした) を明記する	
大学スポーツ委員長	

(資料6)

年 月 日

大学スポーツ委員会委員長 殿

事故情報共有シート

報告者	クラブ名
	監督氏名 印
顧問	印
部長	学部 学科
	氏名 印
発生日時 :	年 月 日 午前 午後 時 分頃
発生場所 :	
事故の発生状況 :	
被害の内容 :	
原因	
再発防止策	
コメント	
大学スポーツ委員確認	